

## 令和4年度 第1回みんなで支える森林づくり諏訪地域会議 議事録

開催日時：令和4年6月22日（水） 13時30分から15時まで

開催場所：諏訪合同庁舎502号会議室

出席者：【構成員】（五十音順、敬称略）

牛山 輝明、片倉 正行、中村 くすみ、藤森 良隆（座長）、松下 妙子、宮坂 佐知子

【事務局】

（諏訪地域振興局）

宮原 渉 地域振興局長、鎌田 宣之 林務課長、山城政利 林務係長、宮原 登 主任

久保田 淳 普及林産係長、鈴木 直人 森林保護専門員、吉山 芳幸担当係長

（諏訪建設事務所）

宮本 吉寿 維持管理課長

【林務部】

坪井 俊文 林務部次長、日詰 究 主査

要 旨：

### 会議事項（1） 令和3年度の取組実績について

（事務局）

資料1により説明（説明者：山城、久保田、宮原、吉山）

（松下構成員）

八ヶ岳山麓・薪活用プロジェクトで実施した講演のYouTube配信の再生回数はどのくらいであったか。

（事務局）

91回である。

（片倉構成員）

諏訪建設事務所で実施した観光地の周辺における街路樹整備事業について、岡谷茅野線の桜の剪定を実施したが、森林税活用事業であることを積極的にPRすべきである。

（藤森座長）

ご意見のとおりである。これまで手が入りにくかった樹木に対して、森林税が活用されているが、有効性についてご意見をいただきたい。

（片倉構成員）

このような市民や観光客に直結する樹木のある場所に活用されることは大変効果的である。

（藤森座長）

薪によるエネルギーの地産地消推進事業における八ヶ岳山麓・薪活用プロジェクトで、北山小学校の取組が紹介されたが、原村の学校におけるストーブなどの燃料はどのようになっているのか。

（牛山構成員）

数年前に建て替えたときに、木質バイオマスである薪ストーブ導入計画があったが、化石燃料との

コスト比較で実現できなかった。

(松下構成員)

北山小学校の薪作り体験会は、学校、クラス等どのような単位で実施されたのか。

富士見町でやまほいくを運営しているが、昨年度購入した山林で、森林整備や薪作りなどを考えており、知識として教えていただくのも学びではあるが、体験することで学ぶことも大切であると考えている。体験した小学生たちがどのような感想を抱いたのか今後の活動の参考までにお聞きしたい。

(藤森座長)

LCV特別番組の制作の際に、北山小学校の校長先生とともに参加させていただいているが、学校全体での体験は規模的に難しかったとお話があったと記憶している。

(事務局)

北山小学校の5、6年生が参加し、山の中の作業で非常に喜んでおり、特に木が倒れる瞬間は歓喜していた。また、薪にしていく過程も興味深く作業をしていた。

(中村構成員)

森林づくり推進支援金で実施した茅野市永明寺山公園の森林整備事業について、私の子供たちが息子や娘を連れて公園に久しぶりに訪れたところ、非常にきれいになっており眺望もよかったと喜んでおり、私にも行ったほうがいいよと勧められた。きれいに整備したことで、訪れる人も増えてくると思うので、整備した効果があったのではないか。

(藤森座長)

非常にお褒めのご感想をいただいた。

富士見町では、松枯損木伐倒処理を実施しているが、ご意見を伺いたい。

(松下構成員)

富士見町では、あまり松枯損木を目にすることがないが、地域会議に参加させていただいて、隣県からの侵入防止のため富士見町のご努力を知ることができた。長野に向かう車中で、激害地を目にすることがあるが、各市町村が個別の課題解決のために取り組めるのはよい仕組みである。

(藤森座長)

富士見町における松枯れは、標高でどれぐらいまできているのか。

(事務局)

昨年度、管内で松くい虫被害報告があったのが、岡谷市で5本であり、標高としては1,400mを超えている場所もある。

(藤森座長)

富士見町は、松枯れではあるが松くい虫とは認定されていないのか。

(事務局)

枯損木から採取した検体を林業総合センターで検査しているが、今のところ富士見町では確認されていない。

(松下構成員)

被害を食い止める作業も大変だが、枯損木を発見することも大変ではないか。

(事務局)

各市町村で巡視を行っており、枯損木の報告に基づき対応している。

(藤森座長)

防災・減災対策緊急治山事業について、ご意見があれば伺いたい。

(中村構成員)

令和3年9月豪雨災で被災した経験から、災害はいつ起きるかわからないとは認識していたが、沢から離れていたのが気にかけていなかった。防災については、普段から気かけ準備をしておくことの大切さを実感した。これまで、伊勢湾台風による小規模崩落や昭和57年に少し氾濫した程度であったが、山もただ大きくなっただけの木であったり、集中的に降る雨など環境の変化を感じている。

本格的な復旧はこれからになるが、少しずつ取り組んでいきたい。

(藤森座長)

貴重な体験談をお話しいただき感謝します。一日も早い復旧を願っております。

(片倉構成員)

岡谷市から茅野市にかけての西山地域は、昨年度の災害で大きな被害が発生した。こういった地域に、公共事業で対応できない部分を、森林税を活用して積極的に対応をしていただきたい。

(松下構成員)

森林税は、一人当たり500円の徴収で6億9千万円余であり、税事業はどれも大切で教育的な支援や人材育成、防災・減災のための森林整備など多岐にわたっており、今後も予算措置の必要性は増してくると思うが、実際に事業を執行している方々は、500円の費用負担で十分と感じているのか。

(林務部)

森林税は、平成20年度から導入されて、平成30年度から第3期となっているが、個人一人当たり500円を超過課税でいただいている。第1期、第2期は里山の間伐を中心に森林整備を実施したが、第3期の検討において、教育利用の推進や景観形成のための森林整備など多岐にわたる事業体系となるなか、第2期から第3期の前半にかけて税収を下回る執行が続いたが、昨年度、一昨年度の執行額が約10億円となり、今年度末には税収による基金残高がほぼなくなる予定である。

(松下構成員)

この会議に参加し事業への理解が深まり、普段から自然に近い場所で生活をしていると、500円では安いと感じている。住民の視点から見れば森林整備には多額の費用が必要であるが、まだまだ理解されていないと思うので、しっかりと周知していただき、県民の皆様が満足して納税できるようにしてほしい。

森林税は、納税した効果が見えやすく、子供たちが税の仕組みを勉強するわかりやすい教材である。

(林務部)

森林整備には、国庫補助事業の活用や森林環境譲与税などの財源もあるが、森林税を活用して緊急的に取り組むべき課題等を整理しながら検討を進めてまいりたい。

森林税の理解促進については、片倉構成員のご指摘も踏まえ、取り組んでいきたい。

(藤森座長)

冒頭で片倉構成員からのご意見にもあったように、しっかりと周知していただければより理解が

深まるのではないか。

様々なご意見をいただいたが、令和3年度の取組実績について、地域会議として了承する。

(異議なし)

## 会議事項(2) 令和4年度の事業計画について

(事務局)

資料2により説明(説明者:山城)

(藤森座長)

6月現在の計画内容であるが、地域会議として了承する。

(異議なし)

## 会議事項(3) 次期森林づくり指針について

(林務部)

資料3により説明(説明者:坪井林務部次長)

(片倉構成員)

区有林の整備に関わっており現在最終間伐を行っているところであるが、皆伐後のことを考えると先行きが不安である。50年前は、林業従事者が多く、下刈りなどの保育がしっかりとできたが、担い手が減少している今では保育ができるのか不安であることから、林業の担い手対策にしっかりと取り組んでいただきたい。

(宮坂構成員)

建築に関わっており県産材の利用に注力しているが、供給体制が整っていないのが現状である。

県産材の活用に当たって補助金も交付されるが、価格が高いなど循環の仕組みがうまく回っていない。林業や建築関係者、住民が協力しながら山の産物を活用する仕組みづくりをする必要がある。

また、例えば防災の観点からも山の危険個所がどれくらいどこにあるのか住民は知らない。

100年先のビジョンを具現化するためにも、森林に関する情報を研究する分野にも予算を充たすべきではないか。

(藤森座長)

非常に大事な意見である。例えば、子供がアイスを買うように、県産材もどのようにしたら入手できるのか明確な仕組みづくりが必要なのではないか。

(牛山構成員)

昨年度から村有林のカラマツの更新伐を始めたところであり、対象は240haで、毎年4ha伐採すれば60年で更新できると計画したが、住民からの指摘を受け2haに変更した。

今は更新後、カラマツがいいのか、針広混交にするのか、何を植栽するかで思慮しているところであり、将来しっかりと循環するような長期を見据えたマニュアル的な指針があるとありがたい。

(林務部)

今植えられているカラマツも当時は、電柱用材とするために成長の早いカラマツが植えられた。今は、合板や集成材の重要な原料となっている。当時、今の状況を予想できた人はいない。これと同じように何十年先の需要を予想するのは難しいが、次期指針では、木材生産に適した場所ではしっかりと

と生産していく方針をこれまでの指針より打ち出す予定である。個別の山づくりの進め方は地域振興局も一緒になって考えさせていただきたい。

(事務局)

先週、現場を拝見させていただいたが、次世代を考えた森林づくりの方針に感銘したところであり、今後とも深く関わらせていただきたい。

(藤森座長)

構成員の皆様からは、非常に活発かつ貴重なご意見を多くいただいた。

森林税を中心に議論をさせていただいたが、これだけ浸透してきた森林税をぜひ継続をしていただくようお願いします。

事務局におかれましては、本日の意見を事業執行に反映させていただきますようお願い申し上げ、議事を終了します。